

■ロシア：政府、2020年までの省エネ国家計画を承認

ロシア政府は2013年3月7日の閣議で、2020年までの国家計画「エネルギー効率とエネルギー産業の発展」を承認した。国家計画は「省エネとエネルギー効率の向上」、「電気事業の発展と近代化」、「石油部門の発展」、「ガス部門の発展」、「石炭産業の再編と発展」および「再エネ電源利用の発展」の6サブ計画から構成され、計画全体の戦略目標は、燃料エネルギー資源の経済への安定供給とロシアのエネルギーGDP原単位の40%削減に置かれている。閣議での議論の中、メドベージェフ首相は「基本的な問題点は、ロシア経済が極めて浪費的であるということに尽きる。我々はエネルギー産業でむだに資金を注ぎ込んでいる」と指摘した。国家計画の投資総額は28.6兆ルーブル（約86兆円）で、主な財源は予算外の基金から出される28兆ルーブル。連邦予算と地方予算からは1,050億ルーブルと5,620億ルーブルがそれぞれ拠出される。